

Newsletter vol. 25

留学と就職

～就職活動における 留学経験の生かし方～

留学に興味があっても、帰国後の就職活動を心配している学生さんも多いと思います。今回は、留学経験者の卒業生に、就職活動における留学の影響について、アンケート形式で伺ってみました。

- ①名前
- ②卒業年度と卒業学部学科名
- ③就職先
- ④留学先
- ⑤就職活動では、留学したことをどのようにアピールしましたか？
- ⑥面接では留学について聞かれましたか？どのようなことを聞かれましたか？
- ⑦留学したことで、就職活動上、プラスになったこと、マイナスになったことがあれば、教えてください。
- ⑧留学経験は仕事の上でどのように役立っていますか？(ただし、2010年3月卒業者を除く)
- ⑨最後に一言、後輩へメッセージをお願いします。

- ①三崎 望樹広 (ミキヒロ)
- ②2009年3月文学部英米文学科(田辺千景ゼミナール)卒業
- ③みずほフィナンシャルグループ みずほ銀行 基幹職(いわゆる総合職です)
- ④オックスフォード・ブルックス大学(イギリス)
- ⑤留学先で一番辛かったことをどうやって乗り越えたかを話して自己アピールに繋がりました。音楽学部で開講されているピアノの授業を取っていましたが、当初は、教授にも他の学生にも全く相手にされず非常に悔しい思いをしました。そこで教授に「一度で良いから演奏するチャンスを下さい」と何度も交渉し、貰った10分間でピアノ独奏の演奏を成功させました。それ以来、教授やクラスメイトから伴奏やセッションの依頼が増え、音楽学部でも自分の存在を確立させることができました。
- ⑥「何故留学しようと思ったのですか？」という質問が多くありました。やはりどういう目的があって留学したのか、その結果どうなったのかを企業は知りたいのだと思います。私の場合

は、当初は教員になるための留学だったので、留学中に新たな気付きや発見があって考えが変わったことを説明しました。そして自分がやりたいことは教員ではなくて、銀行員の方が向いていると思うから銀行を志望していると伝えました。

⑦プラスにもマイナスにも、自分の考えや意見をはっきり伝え、自分をアピールする力が磨かれたことが言えると思います。就活＝自己アピールの場ではありますが、やりすぎは厳禁です。でしゃばる人間を嫌う企業もあります。空気を読んで採用試験に臨んで下さい。私もやりすぎで失敗した経験があります。

⑧英語という強みがあると自分に自信が持てることです。社会人になると周りは東大・京大・慶應など一流大学出身の人ばかりです。あらゆる点で自分は負けていると思い知らされますが、留学経験と英語力があるという事実は自分を勇気づけてくれます。平均的な知識や能力はもろん必要ですが、やはり他人より抜きん出ている力は自分自身を支える為にも必要だと思っています。

⑨プライドを捨てて就活を始めして下さい。学習院・留学経験なんて大した強みになりません。みなさんのライバルは学習院以上の大学生で、自分は底辺にいたと思った方が良いでしょう。企業は大学名で学生を選んでいるのではなく、能力の違いが学歴に表れているだけのことです。就活は動き出したもん勝ちです。たくさん失敗して反省して改善して、いち早く内定を手にして下さい。その時に初めて「学習院で良かった」、「留学をして良かった」と感じる事が出来ると思います。



▲新人研修会にて(右側が三崎さん)

- ①中岡 舞
- ②2009年3月文学部心理学科卒業
- ③独立行政法人福祉医療機構
- ④ノースカロライナ州立大学シャーロット校(アメリカ)
- ⑤留学を通じて、視野が広がり、異文化交流の大切さや言葉の重要さ、また日本の文化の素晴らしさを改めて感じる事が出来たこと。また、この経験を通して、日本をより魅力のある国にしたいと考えるようになったこと等をアピールしました。
- ⑥どうして留学しようとしたのか？また、そこから自己の強みとして何を得られたのか？等を聞かれました。
- ⑦プラスになったことは、留学を自分の一つの強みとして話せるようになったことや、語学力が伸びたことです。マイナスになったことは、特にありません。
- ⑧現在、仕事上では、直接海外に関する業務は行っておりませんが、留学時代に様々な場面で培った視野や観点をもって、仕事に取り組んでいます。また、留学時代に出来た友人達は、今でも大きな心の支えとなっています。
- ⑨長期の留学経験は、社会人になるとなかなか出来ません。学生のうちに、やりたいことには躊躇せずにどんどんチャレンジして行ってください。どんな経験でも、マイナスになることはなく、必ず、今後の人生に役立つと思います。がんばってください！



▲留学中のInternational Festivalでの一コマ(右端が中岡さん)

①飯原 遥子

②2009年3月法学部政治学科（FTコース）卒業

③全日本空輸（株）総合職事務職

④復旦大学（中国）

⑤「郷に入れば郷に従え」の精神を実践すべく、思想や文化の違いを肌で感じるために上海人の友人宅でホームステイをしました。実体験の中で学んだことを話し、何事も恐れずまずは挑戦することの大切さや与えられた環境へ溶け込む姿勢をアピールしました。

⑥面接では留学中のエピソードを中心として話を展開しました。(1)留学先で得たことは会社でどのように活かされるのか、(2)困難をどのようにして乗り越えてきたか、などについて聞かれました。前向きな回答が期待されていると思いました。

⑦プラス面としては中国語の習得のみならず、国籍問わず多くの友人と巡り合えたことや数々の困難を乗り越えたことで得た達成感など、就活を行うにあたって留学での経験は心の支えとなり、また大きな自信になったことです。マイナス面は、就活を始める時期が多少遅れ、情報が少なかったことですが、プラス面のほうが遥かに上回っていたと思います。

⑧現在の業務では、残念ながらから中国語を実際に使用する機会はありません。しかし、羽田空港の国際化や中国路線のますますの展開など、中国を接点とした仕事は今後増えていきますので、留学での経験をぜひ活かしていきたいと思っています。

⑨留学は私にとって一大決心でしたが、後悔したことは一度もありません。苦労は絶えませんが、どんな状況においても前向きに挑戦することで、自分自身を大きく成長させてくれる機会になると思います。目の前にある多くの機会を決して無駄にせず、まずは挑戦して下さい!!心より、応援しています。加油!!



▲日常業務でのひととき……フライトでのエピソードをいつも丁寧にお話してくださる、B767の機長です。

入社後すぐに運航本部乗員室に配属され、B767機長のスケジュール作成を行っています。約300名分、一人ひとりの体調や生活を配慮し、審査や訓練、乗務する路線などを決めていきます。スケジュールは乗員の一生を大きく動かすものですので、責任感をもち、日々の業務を行っています。

①吉野 藍

②2010年3月文学部フランス文学科卒業

③証券会社

④リヨン第二大学（フランス）

⑤留学前や留学中に直面した困難な出来事をどうやって乗り越えたか、留学したからこそできた経験、培われた力などをアピールしました。

⑥具体的に留学について質問されたことはなかったと思います。ただし、面接では留学経験を軸に話すようにしていたので、質問に応じて留学の話を変えて答えていました。

⑦留学したことで精神的にかなり強くなったので、落ち着いて面接に臨めた気がします。少なからず自分の自信にもなっていたと思います。

⑧就活では自分を知ってもらうためのひとつのツールとして、留学経験を役立てれば良いと思います。がんばってください!



▲留学先でのバレーボールクラブのチームメイトと（後列真ん中が吉野さん）

①久留島 義信

②2010年3月文学部ドイツ文学科卒業

③株式会社マツボー：産業機械の輸入業（ドイツが主な取引先）

④バイロイト大学（ドイツ）

⑤ドイツ語を仕事で活かせるという点。異文化での生活経験から、仕事においても広い視野で物事を考えることができるという点。議論や討論の場での度胸がついたという点、などをアピールしました。

⑥なぜ留学したか、留学するまでにどのような努力をしたか、留学中はどのような活動をしたか、帰国後は留学がどのように活かしているか、仕事にはどう活かせるのか、といったことを多くの企業で質問されました。あとは、ドイツ人はどんな国民性があるのか、ビールはおいしいか、何が一番楽しかったのかなど、留学先に関する素朴な質問も多くされました。面接官がドイツにいたことがあったり、ビールやサッカーの話題に興味がある場合は非常に好印象でした。

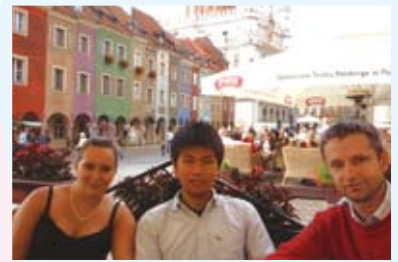
⑦プラス面：語学力の向上、視野の転換、会社探しの幅が広がりました。

マイナス面：1年卒業が遅れ、就職氷河期に巻き込まれました。ドイツ語の資格しか所有しておらず「英語はできないのですか?」と多くの企業で聞かれました。やはりビジネスにおいて外国語の基本は英語らしいです。(確かに英語圏でないため、ほとんどの企業で必要とされる英語力はアピールしにくい面がありますが(資格を持っている方などは別として)、英語圏へ留学する学生が多い中、非英語圏への留学は面接官に興味を抱いてもらえる確率が高いと思います。)

⑧僕も入学当初は自分が留学するなんて全く想像もしていませんでした。しかし、何十年もあ

る人生のうちでたった一年くらい、海外で勉強してみるのも悪くはないと思い留学をしました。4年間を大学で過ごして、その後定年するまで働くという考え方が人生ではないと思います。僕の就職活動は不況の波にのみ込まれてしまいましたが、結果として自分の満足のいく会社に出会うこともできました。留学がマイナスに働いたとは全く思っていません。

しかし、就職活動もそうですが、留学というものも全て自分から動き出さないと何も始まりません。ぜひ少しでも留学に興味がある方は行動を起こして、資料などで留学先の大学について調べてみることをお勧めします。後輩の皆さんが素晴らしい留学経験ができるよう、そして満足のいく就職活動を行えるよう願っています。頑張ってください!



▲旅行先にて友人と（真ん中が久留島さん）



①高木 麻里絵

②2009年3月経済学部経済学科（棕寛ゼミナール）卒業

③キャセイパシフィック航空 客室乗務員

④ディーキン大学（オーストラリア）

⑤留学を計画して行動に移した行動力をアピールしました。航空業界の面接では、たくさん国際的な経験(海外の友達、英語でのプレゼンテ

留学と就職.....



▲クラスメイトと学び舎の前で
(前列右端が福澤さん)



▲中国人のお友達の誕生日会にて
(左から2番目が福澤さん)

協定外留学体験記

中国の発展と歴史を味わえる都市 ～北京から

文学部日本語日本文学科4年 福澤 香苗

1. はじめに

私は、現在中国北京市にある「北京師範大学」に留学しています。私の留学のきっかけは、学習院大学で日本語教育を専攻し、外国の人に日本語を教えていく中で、他国の文化に興味を持ったことです。そこで、今回は私の留学先での経験をお話します。

2. 中国の発展と歴史を味わえる都市 ～北京～

近年、中国は、高度な経済成長を遂げ、今や日本やアメリカ等の先進国と肩を並べる程の経済規模を誇るようになりました。実際に、中国国内では、昨日までそこになかったものが知らない間に造られ、街中の景色が目まぐるしく変化しています。昨年には、中国建国60周年という節目の年を迎え、国慶節の際は、豪華絢爛なパレードが催されました。さらに、今年は上海万国博覧会が開催されるなど国全体が活気で満ち溢れています。

私の留学先である北京は、都市として発展した部分もありますが、故宮博物館や万里の長城など、中国何千年もの歴史を感じさせる名勝古跡・世界遺産が数多くあります。発展し活気溢れる中国、悠久の時を感じさせる伝統的な中国、その両方を味わうことが出来る都市として北京は素敵な場所だと思います。

3. 学校生活

私の通っているクラスは、普通研修生(主に中国語を主専攻とする留学生)のためのもので、出身国の異なる人が多く所属しており、日本人は私一人だけです。そもそも「北京師範大学」は日本人が少なく、韓国人、華僑(中国本土から海外へ移住した中国人およびその子孫)の留学生が殆どです。正直に言って、最初は言葉や文化の違いから苦労もありましたが、今では皆よきクラスメイトです。

授業は、基本的に、週末を除いて毎日あります。平日は勉強し、休日は友達と外食したり、買い物したり息抜きしています。特に楽しかった出来ごとは「北京師範大学」で一年に一度、開催されているカラオケ大会です。この大会で優勝した人は、テレビ出演が出来るという、かなり本格的なカラオケ大会です。もちろん歌う歌は中国語です。私は、ひよんなことから参加することになり、優勝を狙いましたが、参加賞に終わりました。カラオケ大会当日は本当に緊張しましたが、クラスの皆が応援してくれたため、クラスメイトと一体感をもて、非常に楽しく盛り上がる事が出来ました。

4. 中国人の学生との出会い

中国は世界で人口が最も多いため、大学受験や就職などにおける競争は非常に過酷なものです。私の留学している「北京師範大学」も、入学競争率の高い大学として有名で、学生たちは激しい受験戦争を潜り抜けて来た強者ばかりです。周囲の学生たちは非常にモチベーションが高く、常に向上心を持って勉学に勤めています。このような、学生間の競争が激しい環境は、学生にとってとてもいい刺激になると思いました。

私には、師範大学生の学友パートナー(中国語の家庭教師のような存在)がいます。私達はよく時間も忘れ、中国と日本との関係、教育における問題点について語りあいました。彼女は、私のつたない中国語を必死に理解し、どんな話も吸収しようと真剣に耳を傾けてくれます。そのような彼女の前向きで何事にも積極的な姿勢はいつも私を励まし、勇気付けてくれます。私が、留学生生活を通じて得た一番の財産は、彼女を初めとする多くの学友に巡り会えたことだと強く感じています。

5. 最後に

私は、この留学を通して多くのことを学びました。毎日が驚きと発見の連続で、あっという間に月日は流れ、気がつくと、留学生生活も残すところあとわずかとなりました。楽しいことばかりではなく、もちろん辛いこともありました。けれども、沢山のひとと出会いに助けられ、今無事に留学し、北京で留学生生活が送れていることを、心から多くの人に感謝しています。

ーションやディスカッション、授業など)をした事をアピールできて、とても良かったです。

⑥海外での生活が主になるので、「海外で生活するにあたって大変なこと、心構え」などについて聞かれました。面接自体、英語で行われましたので、英語については何も聞かれませんでした。

⑦プラスになったこと:「自分で計画して行動し、成し遂げたものがある」という事をアピールできた事です。これはどの業界での就活でもいえる事でした。

マイナスになったこと: 留学時期が3年生の時だったので、就活で遅れをとらないか心配でした。しかし、友達と連絡を取り合い、周りの就活の進行状況を確認したり情報収集したりしていたので、特に大きな問題はありませんでした。

⑧職業柄、お客様・同僚ともに海外からの方との交流が多いので、語学力はもちろん異文化理解に役立っています。私は海外ベースでのお仕事なので、留学により、一人で海外で生活する基礎を身につけることができたことも大いに役立っています。留学経験は今の仕事にとっても大きく役立っているの、留学して本当に良かったと思っています。

⑨就活については本当に様々な情報が飛び交うもの。でも、どの情報が正しくて自分に必要か自分で見極めて、情報におどられる事のないようにする事がとても大切だと気付きました。みなさんにとって良い就活となりますように。



▲ジャンボジェットの前で同僚と(左端が高木さん)

留学生のためのイベント紹介

国際交流センターでは、留学生を対象に、様々なイベントを開催しています。

●留学生親睦バス旅行（5月）

昨年初めて大学独自のバス旅行を行いました。晴天の下、喜多院を始めとした小江戸・川越の散策を楽しみました。

●留学生懇親会（5月）・国際交流親睦会（12月）

留学生同士の交流を図るために、毎年、日本人のボランティア学生の協力も得て、開催しています。先生方も参加して行うゲームではとても盛り上がります。

●伝統芸能鑑賞会（年2回）・留学生親睦バス旅行（年1回）

霞会館の助成金により、学習院女子大学と共催で、歌舞伎や相撲などの伝統芸能鑑賞会と東京近郊の歴史や文化遺跡を訪ねるバス旅行を行っています。昨年は「華果西遊記」と「修善寺物語」の歌舞伎鑑賞会を開催し、バス旅行では久能山東照宮を訪ね、日本平でロープウェイに乗りました。



留学生懇親会



国際交流親睦会



歌舞伎鑑賞会



バス旅行



2011年度協定留学プログラム(第1期) 派遣学生募集について

国際交流センターでは、2011年度第1期（派遣先：韓国、タイ、オーストラリア、ニュージーランド等・留学期間：2011年4月～2012年3月）の派遣学生を募集します。

募集要項の配付日程、説明会の開催日時等については、後日、国際交流センターのHP上や掲示等でお知らせします。

なお、第2期（派遣先：中国、アメリカ、ヨーロッパ等・留学期間：2011年10月～2012年9月）の募集は、後期に行う予定です。

海外留学等のための奨学金制度について

本学では、より多くの皆さんに海外経験を積んでいただくために、以下のような本学独自の奨学金制度（いずれも給付）を設けています。

①「学習院大学海外留学奨学金」

「留学願」による留学の場合に応募できます。（休学の場合は応募できません。）奨学金は一人につき50万円以内で、採用者数は年間20名程度です。募集は年2回（6月および12月）で、審査は書類および面接によって行われます。

②「大学院学生の国外における研究発表援助」

学生の研究活動の活性化を目的として、国外の研究集会で研究発表を行う大学院学生に対し、10万円を上限として旅費等の援助を行っています。募集は年1回（12月）で、審査は書類により行なわれます。

その他、今年度より、

- ◎海外留学奨学金給付者のうち、特に優秀な者に対して給付する奨励金（10万円を上限に10名程度）
 - ◎夏季短期語学研修参加者に対する奨学金（10万円を上限に100名程度）
 - ◎海外でのボランティア活動参加者を対象とした奨励金（10万円を上限に10名程度）
- が新たに設けられる予定です。詳細は、国際交流センターのHP上や掲示等によりお知らせします。

事務室からのお知らせ

🕒 開室時間変更について

4月から国際交流センターの開室時間が変更になりました。他の事務取扱時間と同じ時間帯になりましたので、お気をつけください。

開室時間	
月曜日～金曜日	8時40分～16時45分 (昼休み：11時30分～12時30分)
土曜日	8時40分～12時30分

🏢 移転について

国際交流センターは、8月、中央教育研究棟の2階に移転します。エスカレーターのご近所ですので、来室もしやすくなります。これまで以上に、多くの学生さんにご利用いただけるよう願っています。

●編集後記●

この4月から国際交流センターの体制が新しくなりました。課長職が新設され、スタッフも1名増員となりました。それに伴い、奨学金の新設など、センターの活動も今後拡大・充実化される予定です。新しい国際交流センターにご期待ください。

【平成22年度国際交流センター運営委員】

所長	水野 謙	(法学部)
運営委員	後藤 元	(法学部)
//	Brown, Phillip	(経済学部・外国語教育研究センター)
//	村野 良子	(文学部)
//	谷島 賢二	(理学部)
//	宮川 努	(副学長)
//	中山 高二	(学生センター部長)
//	宮澤 文玄	(国際交流センター課長)

Newsletter vol.25

April 1, 2010

発行日／2010年4月1日

編集・発行／学習院大学国際交流センター

★表紙の写真／禹 吳穎『新緑に映える西2号館』

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

TEL.03-5992-1024 FAX.03-5992-1025

<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/cie/index.html>